

大学コンソーシアム市川産官学連携プラットフォーム主催  
2024年度第1回共同 SD 研修会実施報告

テーマ	卒業時の平均学生満足度～各大学の状況とその要因～
目的	プラットフォーム参加大学の学生生活アンケート結果等をもとに、アウトカム目標である「卒業時の平均学生満足度」の達成状況とその要因を分析することで、各大学が今後の活動に向けた示唆を得ることを目的とする。
配信期間	2024年9月10日(火)～9月17日(火)
開催形式	オンデマンド配信(申込者のみ視聴可能な You Tube 限定公開)
出席人数	185名(アンケート回答数)
プログラム	<ul style="list-style-type: none"><li>・研修会概要について 大学コンソーシアム市川教育活動部会部会長・昭和学院短期大学教授 阿久津 毅</li><li>・各校のアンケート分析結果について 東京経営短期大学 経営総合学科教授 衣川 功一 昭和学院短期大学 IR室 長内 恭子 学校法人千葉学園 経営企画室主任(IR担当) 伊藤 佑樹 和洋女子大学 教育支援課長・IR室長補佐 藤田 直樹</li><li>・各校の比較結果について 学校法人千葉学園 経営企画室室長(IR担当) 五十嵐 匡史</li></ul>
アンケート結果	<p>「大変参考になった」「参考になった」との回答が98%であった。 意見や感想は以下のとおり。(一部掲載)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・所属大学のアンケート結果については確認する機会がありますが、他大学・短期大学のアンケート結果を拝見する機会はありませんため、コロナ禍の結果とその後の回復の状況など、知ることができて参考になりました。</li><li>・コロナ禍でも教育効果を維持するために各大学がそれぞれ努力・工夫をし、学習成果や能力の修得において満足度を高めていたことがわかりました。また、その結果としてオンラインやハイブリット講義、メタバースなど新たな教育手段が検討、構築されて発展していることがうかがえました。各大学での取り組みや課題がわかり、大学コンソーシアム市川ならではの貴重な機会となり、大変勉強になりました。</li><li>・コロナ禍が学生満足度にどう影響しているのか、成績分布との相関はあるのか等、教員として肌では感じていたことですが、実際に数字にて考察とともに知ることができて大変勉強になりました。</li><li>・教育の向上、充実やディプロマポリシーが身につけていると感じた学生が多いほど、学生生活の満足度が高いことを改めて認識しました。また、今後、オンラインとオフラインのハイブリット型教育の教科目を入れることを検討する中で、その有効性を確認することができました。</li></ul>